無題**のページ** Page 1 of 1



## ID: 1310

科目名	建築計画Ⅱ【26年度生用】			コード					
英語表記	Design Principles of Architecture II								
担当教員名	東 孝次				平成26年度				
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2				
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	必修				
Let all low tr									

## 授業概要

「建築計画 I 」に引き続き、建築計画の基礎的な学習を進める。これからの少子高齢時代に重要になってくる福祉住環境に関する基本認識と対処法を学ぶ。さらに、教育施設、文化施設等の各建築タイプについて計画・設計についての基本的な事項と計画上の留意事項を学ぶ。

## 到達目標

(1)福祉住環境に関する基本事項を理解し、その対処法を習得する。(2)各種建築タイプの建物を設計するために必要な基本的事項の理解を図り、具体的な設計へ学習を進めていく。

工/开 色 四 / ( )	共体的な設計へ子首を進めてい、。									
	授業	計画								
第1回	福祉住環境という考え方									
第2回	福祉住環境整備の基本技術									
第3回	福祉住環境整備のための建築知識									
第4回	福祉住環境整備の事例1									
第5回	福祉住環境整備の事例2									
第6回	教育施設の計画1(学校建築の変遷、学校の種類、運営)									
第7回	教育施設の計画2(全体計画、平面計画、各部の計画)									
第8回	教育施設の計画3(学校建築の展開、保育所・幼稚園)									
第9回	文化系施設の計画1(図書館、美術館・展示空間)									
第10回	文化系施設の計画2(劇場・ホール、地域文化活動施設)									
第11回	コミュニティ施設の計画(コミュニティの概念、要求される機能、施設の類型)									
第12回	社会福祉施設の計画1(社会福祉施設の概要)									
第13回	社会福祉施設の計画2(社会福祉施設の建築計画)									
第14回	宿泊系施設の計画(セミナーハウスの建築計画)									
第15回	事務・業務系施設の計画(オフィスビルの建築計画の	変遷、平面計	画)							
	評価方法と基準	評価項目と割合(%)								
期末試験50%、平常点(小課題)を50%として評価する。小課題は 各講義の要点を問題とする。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他				
		10	10		50	30				
	授業外学習	テキスト、教材								
様々なタイプ	の建築を見学して、実際に空間を体感すること。	建築計画教	材研究会編「建	築計画を学	ぶ」理工図書					
	参考書	受講生へのメッセージ								
左藤考一∙五 出版社	五十嵐太郎著:「初学者の建築講座 建築計画」市ヶ谷 建築家の作品集、建築雑誌、建築設計の図書に接すること及びきる限り多くの建築作品を見学すること。「建築設計皿」「建築設計IV」へとつながる講義なので、しっかり理解すること。									
	<u>+</u>	ワード								

| |福祉住環境、教育施設、文化系施設、社会福祉施設